

開会式

8:45-8:55

一般演題 1

9:00-9:40

「疫学」

座長：北野 尚美（和歌山県立医科大学医学部）

星野 真介（滋賀医科大学 小児科）

01-1 COVID-19パンデミック前後における川崎病の疫学的変化：滋賀県10年間コホートからの検討

星野 真介

滋賀医科大学 小児科

01-2 川崎病疫学調査2023-24

阿江 竜介

自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門

01-3 新型コロナウイルス流行が IVIG 不応例発生に与えた影響の調査

吉田 雅史

宇部工業高等専門学校

01-4 川崎病トリガーの年齢差と地域差：COVID-19パンデミック期間における川崎病発生数に関する分割時系列分析

石井 卓

東京科学大学 茨城県小児・周産期地域医療学講座

シンポジウム 1

9:50-10:50

「増加を続ける初回免疫グロブリン療法不応例」

座長：阿江 竜介（自治医科大学 地域医療学センター公衆衛生学部門）

上野 健太郎（鹿児島大学病院小児科）

Keynote Lecuture

S1-1 初回 IVIG 不応例の増加とその背景：全国疫学調査データの分析

阿江 竜介

自治医科大学 地域医療学センター公衆衛生学部門

S1-2 初回 IVIG 不応例の当院での傾向と治療追加の妥当性

岡本 健吾

広島市立広島市民病院

S1-3 **IVIG 治療後 IgG 濃度と川崎病治療反応性の検討**

橋本 佳亮

日本医科大学

S1-4 **初回免疫グロブリン療法不応率と追加治療率に影響する要因**

岩佐 充二

名古屋西病院 小児科

一般演題 3

11:00-11:50

「基礎医学」

座長：尾内 善広（千葉大学大学院医学研究院公衆衛生学）

濱田 洋通（千葉大学医学部附属病院）

O3-1 **NOD-1リガンドモデル冠動脈炎での NK 細胞関与の検討**

藤田 聖実

長浜赤十字病院 小児科

O3-2 **川崎病患者由来 Yersinia pseudotuberculosis のゲノム解析**

安岡 和昭

九州大学大学院・成長発達医学

O3-3 **Remote ischemic conditioning の川崎病モデルマウスへの応用**

本田 崇

北里大学医学部小児科学

O3-4 **川崎病における HMGB1 制御機構**

上野 健太郎

鹿児島大学病院小児科

O3-5 **アンギオテンシン II 受容体拮抗薬のマウス冠動脈狭窄抑制作用：血管平滑筋細胞表現型への影響**

菅沼 栄介

埼玉県立小児医療センター 感染免疫・アレルギー科

「川崎病と共に歩んで」

座長：三谷 義英（三重大学医学部附属病院 周産母子センター）

共催：帝人ファーマ株式会社

LS1-1 川崎病による冠動脈障害と向き合って

津田 悦子

国立循環器病研究センター 医療安全管理部

LS1-2 川崎病性冠動脈瘤ゼロを目指して ～和歌山の試み～

末永 智浩

和歌山県立医科大学 小児科

一般演題 5

「検査・診断」

座長：吉兼 由佳子（福岡大学医学部）

森 雅亮（東京科学大学 生涯免疫医療実装講座・聖マリアンナ医科大学 リウマチ内科）

O5-1 川崎病とその他小児炎症性疾患における血漿 Myl9値の比較検討

早田 衣里

千葉大学医学部附属病院

O5-2 血清サイトカインの網羅的解析による川崎病と MISC の鑑別および冠動脈病変発症予測バイオマーカーの同定と意義の検討

畠野 真帆

東京科学大学 発生発達病態学分野

O5-3 川崎病における膵酵素測定 of 臨床的意義の検討

村上 力也

秋田県厚生農業共同組合連合会 能代厚生医療センター 小児科

O5-4 不全型川崎病の診断における赤血球沈降速度の有用性と最適なカットオフ値の検討

小山 裕太郎

済生会宇都宮病院小児科

O5-5 急激な経過をたどり高頻度に冠動脈病変を形成する劇症川崎病を治療開始前に予測する

吉兼 由佳子

福岡大学医学部

「The next stop, Kawasaki disease patients in the adult industrious life」

座長：須田 憲治（久留米大学医学部 小児科学講座）

共催：日本川崎病研究センター

The next stop, Kawasaki disease patients in the adult industrious life

Nagib Dahdah

Division of Pediatric Cardiology, CHU Sainte-Justine, University of Montréal, Canada

「病初期から冠動脈拡張を有すハイリスク症例に対する初期強化療法」

座長：沼野 藤人（新潟大学 小児科）

高月 晋一（東邦大学 大森病院）

K-1 川崎病全国調査と米国多民族コホートに基づく冠動脈瘤危険因子の検討 —初期強化療法の対象となるハイリスク症例とは—

山崎 聖子

信州大学 医学部 小児医学教室

Keynote Lecuture

K-2 治療開始時に冠動脈拡張を認める川崎病症例への対応 — IVIG+ASA 単独療法の有効性 —

古野 憲司

福岡赤十字病院

Keynote Lecuture

K-3 Acute Intensification May Reduce Coronary Artery Damage from Kawasaki Disease in Infants Less Than 6 Months

Kirsten B. Dummer

Department of Pediatrics, Division of Cardiology, University of California San Diego/Rady Children's Hospital

Keynote Lecuture

K-4 An International Opinion Poll on the Transition of Care of Adult Kawasaki Disease Patients

Nagib Dahdah

Division of Pediatric Cardiology, CHU Sainte-Justine, University of Montréal, Canada

「冠動脈エコーの精度管理」

座長：豊野 学朋（秋田大学 機能展開医学系小児科学講座）

小林 徹（横浜市立大学発達育成小児学講座）

Keynote Lecuture

S2-1 小児冠動脈標準曲線の課題：モデルによる違いをどう乗り越えるか

小林 徹

横浜市立大学発達育成小児学講座

Keynote Lecuture

S2-2 心エコー装置の進化がもたらす冠動脈評価の精度と限界：川崎病診療における標準化の現状と展望

豊野 学朋

秋田大学小児科

Keynote Lecuture

S2-3 川崎病冠動脈エコー検査におけるアンケート調査

寺町 陽三

久留米大学

S2-4 川崎病診断時の冠動脈径に影響する要因の検討

古田 貴士

山口大学 小児科

10月17日 第2会場 〈C ボックス（4F）〉

一般演題 2

9:00-9:40

「病因・病態」

座長：松原 知代（獨協医科大学埼玉医療センター小児科）

濱田 洋通（千葉大学大学院医学研究院小児病態学）

O2-1 川崎病における網羅的自己抗体探索

清水 正樹

東京科学大学大学院 茨城県小児周産期地域医療学

O2-2 川崎病の血管炎病態におけるインフラマソームの活性化と IL-1 β の過剰産生がはたす役割

金子 修也

東京科学大学発生発達病態学（小児科）

O2-3 当院における川崎病患者の層別化および臨床的特徴の検討

神山 裕二

横浜市立大学

O2-4 SARS-CoV-2陽性川崎病と陰性川崎病の比較—J-MKC レジストリを用いた検討—

松原 大輔

自治医科大学

一般演題 4

11:00-11:50

「急性期治療」

座長：益田 博司（国立成育医療研究センター総合診療部）

福田 清香（済生会横浜市東部病院 小児科）

O4-1 インフリキシマブ使用による川崎病治療・予後の影響

辻井 信之

奈良県立医科大学 小児科

O4-2 ロタウイルスワクチン接種後2週間後に発症したガンマグロブリン不応性川崎病の治療経験～インフリキシマブ投与の是非～

清水 大輔

JCHO 九州病院

O4-3 粟粒結核と類似する両肺野びまん性多発結節影を呈した川崎病の8か月男児

布施 拓也

新潟県立十日町病院小児科

O4-4 川崎病に対する初回短期プレドニゾロン併用 IVIG と IVMP 併用 IVIG での追加治療の有用性、小林スコア4点以下での治療成績

藤田 秀樹

加古川中央市民病院 小児循環器内科

O4-5 IVIG 供給不足を見据えた静岡県における IVIG 不応例の検討：初期ステロイド併用の影響

岩島 覚

中東遠総合医療センター

「巨大瘤ゼロ」を目指して：川崎病治療の進歩と国際比較から見る今後の課題」

座長：伊藤 秀一（横浜市立大学大学院医学研究科）

共催：田辺三菱製薬株式会社

LS2 「巨大瘤ゼロ」を目指して：川崎病治療の進歩と国際比較から見る今後の課題

山村 健一郎

九州大学病院 総合周産期母子医療センター

一般演題 6

「診断・急性期治療」

座長：池田 和幸（京都府立医科大学小児科）

菅沼 栄介（埼玉県立小児医療センター感染免疫・アレルギー科）

O6-1 川崎病患者における重症度と無菌性膿尿の関連についての検討

生野 実紅

福岡市立こども病院教育研修支援室

O6-2 川崎病初期診断における末梢冠動脈輝度の有用性

山下 尚人

県立宮崎病院 新生児科

O6-3 川崎病患者における免疫グロブリン大量療法後の再発熱出現頻度に関する後方視的検討

田中 航

福岡市立こども病院

O6-4 難治性乳児川崎病に対する高濃度シクロスポリン持続静注療法の有効性の検討

池田 和幸

京都府立医科大学小児科

O6-5 川崎病の IVIG 単独治療不応例の1回目と2回目 IVIG 投与間隔を短縮すべき症例

岩佐 充二

名古屋西病院小児科

「症例」

座長：清水 正樹（東京科学大学大学院医歯学総合研究科・茨城県小児周産期地域医療学）

中川 直美（広島市立広島市民病院循環器小児科）

P1-1 Multiplex PCR を用いた呼吸器ウイルス感染と川崎病発症の関連性の検討

今村 俊也

東京都立小児総合医療センター 総合診療科

P1-2 川崎病を発症した18トリソミーの一例

飯田 美穂

獨協医科大学病院

P1-3 川崎病に重症貧血を合併した一例

服部 虎之介

秋田赤十字病院小児科

P1-4 川崎病の急性期に非冠動脈病変を合併した1例

佐々木 美穂

秋田大学小児科

P1-5 顔面神経麻痺を合併した不全型川崎病の一例

野口 佑夏

大分県立病院

P1-6 不明熱精査の結果20病日で川崎病の診断となり 冠動脈瘤を合併した34歳成人例

大沢 尚輝

千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター

P1-7 肥満を有する成人発症川崎病の1例

中山 智孝

高知赤十字病院 小児科

P1-8 低用量アスピリンが原因と推定された川崎病巨大冠動脈瘤管理中の薬剤性ネフローゼ症候群疑いの一例

黒木 理恵

福岡赤十字病院 小児科

P1-9 アデノウイルス感染で加療中に左室収縮力低下をきたした不全型川崎病の1症例

西村 美杉

JCHO 大阪病院

「心血管病変」

座長：家村 素史（聖マリア病院）

関 満（自治医科大学小児科）

P2-1 川崎病既往未成年者における冠動脈炎後遺病変の病理学的検討

横内 幸

東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科

P2-2 川崎病性冠動脈瘤を有する成人患者に対して no-touch SVG を用いた冠動脈バイパス術および冠動脈瘤閉鎖術を行った一例

上野 聡史

福岡徳洲会病院循環器内科

P2-3 敗血症性心筋症と診断され、半年後に CABG を受けた川崎病の成人例

高山 達

国立循環器病研究センター

P2-4 川崎病罹患後早期の心筋梗塞後、巨大冠動脈瘤の退縮過程が確認できた9歳男児の1例

松原 一樹

国立循環器病研究センター

P2-5 閉塞後再疎通がみられた右冠動脈中等瘤の一例

谷口 法隆

九州大学病院小児科

P2-6 右冠動脈狭窄を生じつつある川崎病両側冠動脈瘤

吉田 朱里

JCHO 九州病院 小児科

P2-7 高血圧脳症時に冠動脈の拡張傾向を認めた川崎病既往のある 6歳男児例

河内 遼

船橋市立医療センター

P2-8 頸部リンパ節腫脹を初発症状とした川崎病と頸部リンパ節炎の臨床的比較検討

國井 翼

姫路赤十字病院 小児科

P2-9 川崎病 IVIG 治療中のくすぶり熱、二相性発熱の臨床的特徴

岩佐 充二

名古屋西病院小児科

一般演題 7

8:45-9:35

「遠隔期」

座長：三澤 正弘（日本大学医学部附属板橋病院小児科）

宗内 淳（JCHO 九州病院小児科）

07-1 成人の川崎病既往者が経験した心理社会的課題に関するテーマ分析：インタビュー調査から - SMILE@KD Project -

小林 しのぶ

国立成育医療研究センター社会医学研究部

07-2 川崎病後冠動脈障害例におけるフォローアップ中断症例の臨床的検討

泉田 健介

日本医科大学付属病院

07-3 当院における川崎病後巨大冠動脈瘤患者の長期予後

大木 寛生

東京都立小児総合医療センター 循環器科

07-4 川崎病冠動脈瘤の長期経過と心血管イベント（後方視的多施設共同研究）

野田 佳純

藤田医科大学

07-5 環軸椎回旋位固定の治療を要した川崎病の遠隔期に股関節炎を合併した一例

竹村 勇飛

国立成育医療研究センター

シンポジウム 3

9:40-10:40

「冠動脈退縮例の管理」

座長：星野 真介（滋賀医科大学 小児科）

高橋 啓（東邦大学医療センター大橋病院病理診断科）

Keynote Lecuture

S3-1 冠動脈瘤退縮 川崎病と他の血管炎の比較

横内 幸

東邦大学

S3-2 当院における川崎病後冠動脈退縮病変の検討

渡邊 誠

日本医科大学小児科

S3-3 川崎病冠動脈瘤に退縮が生じた3症例の心臓MRI所見 —プラークイメージングを加えた検討—

麻生 健太郎

聖マリアンナ医科大学小児科

S3-4 川崎病による冠動脈瘤退縮患者の予後

津田 悦子

国立循環器病研究センター 小児循環器内科

ランチョンセミナー 3

11:50-12:40

「川崎病だけじゃない！小児血管炎の深層を知る」

座長：濱田 洋通（千葉大学医学部附属病院）

共催：武田薬品工業株式会社

LS3 川崎病だけじゃない！小児血管炎の深層を知る

宮前 多佳子

東京女子医科大学 膠原病リウマチ内科・小児リウマチ科

会員集会・川崎賞授賞式及び記念講演

12:50-13:50

教育講演

14:00-15:00

「なぜ血管は壊れるのか？動脈瘤に学ぶ血管障害のメカニズム」

座長：高橋 啓（東邦大学医療センター大橋病院病理診断科）

動脈の破壊性リモデリング：炎症応答の多面性

青木 浩樹

久留米大学循環器病研究所

加藤裕久先生追悼セッション

15:05-15:50

「Hirohisa Kato Memorial Session」

座長：須田 憲治（久留米大学医学部 小児科学講座）

石井 正浩（石井小児科・心臓小児科）

閉会式・表彰式

15:50-16:00

一般演題 8

8:45-9:35

「症例」

座長：阿部 正徳（日本医科大学 武蔵小杉病院小児科）

二瓶 浩一（しあわせ子供クリニック・東邦大学医療センター大橋病院小児科）

O8-1 大動脈周囲炎を呈した川崎病の男児例

林 祐子

東京科学大学小児科

O8-2 川崎病罹患後に関節炎を発症し MMP-3著明高値のため若年性特発性関節炎との鑑別が困難であった1例

長谷川 里奈

東京医科大学病院 小児科・思春期科

O8-3 ウイルス合併例の治療選択を考えた CMV 併発 IVIG 抵抗性川崎病の一例

櫻井 亮佑

獨協医科大学医学部小児科学

O8-4 シクロスポリン持続静注療法中の再発熱時に HHV-6初感染と診断された川崎病

吉野 光朗

自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児科

O8-5 臍ヘルニア手術を契機に発症し、巨大冠動脈瘤を来した難治性川崎病の1例

石毛 貴之

東京医科大学病院 小児科・思春期科

ランチョンセミナー 4

11:50-12:40

「川崎病の早期診断・治療のためにできること」

座長：伊藤 秀一（横浜市立大学大学院医学研究科）

共催：一般社団法人日本血液製剤機構

LS4-1 その発熱、川崎病かも？ —多様な年齢層における鑑別アプローチ—

上野 健太郎

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 小児科学分野

LS4-2 川崎病冠動脈後遺症ゼロを目指した地域連携

古野 憲司

福岡赤十字病院 小児科

「川崎病の冠動脈瘤はその後どうなるのか」

主催：川崎病の子どもをもつ親の会

協力：第45回日本川崎病学会・学術集会／NPO 日本川崎病研究センター

川崎病の最近の動向と COVID-19 流行が教えてくれたこと

古野 憲司

福岡赤十字病院小児科

川崎病の冠動脈瘤はその後どうなるのか

須田 憲治

久留米大学医学部 小児科学講座

10月18日(土) ポスター・休憩会場〈中会議室（4F）〉

ポスター 3

10:50-11:40

「症例（消化管等）」

座長：辻井 信之（奈良県立医科大学 小児科）

山村 健一郎（九州大学病院 総合周産期母子医療センター）

P3-1 腹部超音波検査で小腸小腸型腸重積を認めた川崎病の一例

佐藤 優希

徳島県立中央病院小児科

P3-2 麻痺性イレウスで発症した川崎病の一例

石綿 敬

長岡赤十字病院小児科

P3-3 出血性胃潰瘍を伴った学童の川崎病不応例

小竹 由

久留米大学病院小児科

P3-4 H2 blocker 併用中に上部消化管出血を来し内視鏡的止血術を要した川崎病の1例

深井 建孝

済生会川内病院 小児科

P3-5 川崎病と診断した扁桃周囲膿瘍の1例

祝迫 洋樹

鹿児島市立病院小児科

P3-6 治療経過中に薬剤性の粘膜障害をみとめた川崎病

植竹 風太

トヨタ記念病院

ポスター 4

10:50-11:40

「症例・その他」

座長：佐藤 誠一（社団法人 沖縄中部療育医療センター）

小林 奈歩（京都第二赤十字病院小児科）

P4-1 文献から導かれる川崎病の原因仮説

弘野 正司

介護老人保健施設長浜ひまわり

P4-2 川崎病 (KD) の東京都定点の29週までの報告数は過去最大の罹患数報告の18年より相当多い155人であったが、秋冬の推移はいかに

栗屋 昭

皮膚科学疫学研究所

P4-3 川崎病性冠動脈拡大に対するインフリキシマブの治療効果：単施設5症例の検討

永田 佳敬

岡崎市民病院

P4-4 異なる臨床経過を示した年長児川崎病症例

服部 苑子

秋田大学医学部付属病院小児科

P4-5 川崎病に2回罹患し治療抵抗性を示し浮腫症候が著名であった一例

佐藤 聖子

鶴岡市立荘内病院小児科

P4-6 乾癬様皮疹を呈した川崎病の女児例

林 祐子

東京科学大学小児科

P4-7 新型コロナウイルス感染症流行前後における川崎病の臨床像的特徴の変化

福田 清香

済生会横浜市東部病院 小児科